

## 8月25日(土) 関西公立高等学校即興型英語ディベート交流大会

- ・「即興型英語ディベート」は、PDA（一般社団法人パラメンタリーディベート人材育成協会）が全国の高校に紹介しているものです。（ディベートには「準備型」もあります。）
  - ・この大会は、主催者であるPDAが6校での交流を呼びかけ、大阪の北野高校を会場に関西では2回目です。
- 交流大会の参加校 6校12チーム  
神戸高校（兵庫）、北野高校（大阪）、堀川高校（京都）、膳所高校（滋賀）、彦根東高校（滋賀）、奈良高校（奈良）  
（神戸高校は6人をA、Bの2チームに分け参加）
  - 北野高校の恩知忠司校長先生の挨拶  
昨年の第1回の挨拶「この6校は今までそれぞれ、名前だけしか知らなかったライバル校でした。今日からは顔と名前も一致して、切磋琢磨できるライバル校になる」を引用しながら挨拶されました
  - 当日の論題
    - ・Round 1 「アメリカに留学するなら、大学入学後より、高校在学中にしたほうがよい」
    - ・Round 2 「選挙での男女の候補者数を均等にすべきである」
  - ・エキシビジョンディベート 「死刑制度を廃止すべきである」  
ジャッジにより選ばれた生徒（各校1人～2人）が3人ずつ、初めて出会う他校の生徒と組んで、公開でディベートを行いました。  
神戸高校からは住祐衣子さん（2年）が代表に選ばれ、スピーチをしてくれました。



ディベートの様子



ディベートが終わればみんなで握手



エキシビジョン・ディベーターの住祐衣子さん



ベストディベーター賞



全員で記念撮影



神戸高校からの参加者

チーム賞 : 神戸高校A 6位  
個人賞(ベストディベーター賞): 生田桃子さん(2年)、軽部大地君(1年)

- ・生徒の皆さん、引率の先生方、おつかれ様でした。他校の生徒とのディベートは、大いに刺激を受けた貴重な経験となったと思います。
- ・他の5校も校長先生や教頭先生も見に来ておられ、生徒たちにとっても励みになったと感じています。